

高校生と大学生が
一緒に考える
東大洲地区の未来

水災害リスクを踏まえた

vol.1 防災まちづくり 東大洲地区編



～若い世代とともに考え、みんなで担う水防災、きらめく大洲をみらいへ～



大洲市では、平成30年7月豪雨による甚大な被害を受け、国・県・市が一体となった「肱川緊急治水対策」が始まりました。現在、堤防整備を進めておりますが、今後も気候変動の影響等により、水災害のリスクは存在します。そこで、国土交通省大洲河川国道事務所では、大洲市や愛媛県、東京大学との連携により、『地域の防災意識の向上と水災害リスクを踏まえた防災まちづくり』に関する取組を推進しています。

本年度は、地域に残る水害リスクや住民アンケート結果を高校生とともに共有し、理解して頂くことを目的に、“共に考える場”として“第1回住民ワークショップ”を開催しました。

具体的には、東大洲地区の高校生（大洲高校および大洲農業高校）を対象に、東京大学との交流を踏まえた“学びの場”として、東大洲地区の水災害リスク状況や防災まちあるきを通じて、東大生と共に考える防災まちづくり（グループワーク）を実施しました。

地元高校生と東大生によるワークショップを開催！

快晴の2月17日（土）、大洲市の肱川河川防災ステーションにてワークショップが開催され、大洲・大洲農業高校の生徒、

東京大学の学生、行政関係者ら約50名が参加しました。参加者のみなで、東大洲地区の防災まちづくりについて考えました！



水災害リスクを踏まえた防災まちづくり ～若い世代とともに考え、みんなで担う水防災、きらめく大洲をみらいへ～



主催 四国地方整備局 大洲河川国道事務所
四国地方整備局 肱川緊急治水対策河川事務所
共催 東京大学 工学部社会基盤学科、大洲市、愛媛県

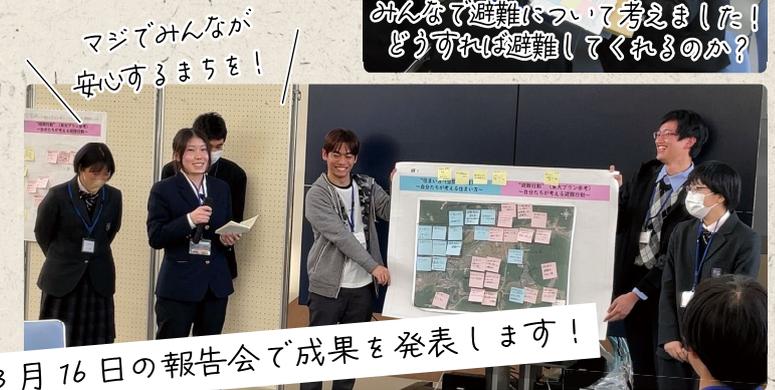
防災まちあるき

ふれ愛パークでは、完成した堤防や排水樋門、貯水施設等の施設見学の他、被災体験談(大木さん)を聞きました。その後、防災まちあるきを実施し、満野大商店では2人の被災体験談(高畑さん、古森さん)を聞きました。



グループワーク

3班に分かれ、大学生のプランを基に、東大洲地区での“住まい方”や“避難行動”について議論しました。色んな人たちの考え方や意見に触れて、とても楽しい時間を共有できました。

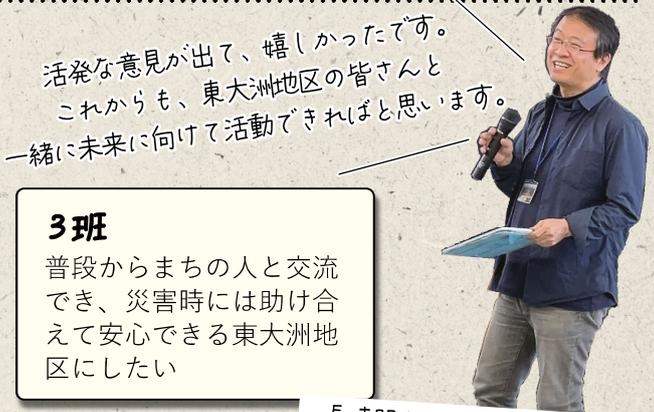


こんな東大洲地区にしたい!!

- 1班**
- つながるまち
 - 防災意識が高いまち
 - 孤立することのないまち
 - まじでみんなが安心できるまち
 - コミュニケーションが飛び交う連帯したまち

- 2班**
- 老若男女が楽しく暮らせる安全なまち
 - 出て行った人が帰りたくなる場所
 - ここで遊ぶの選択を増やしたい
 - 避難機能を備えた映画館

- 3班**
- 普段からまちの人と交流でき、災害時には助け合えて安心できる東大洲地区にしたい



●アンケートより抜粋

普段の生活では知れないことをたくさん学べた。大学生の意見を聞くことで考え方がひろまった。高校生みなさんが積極的に話し合ってくれて、本当に良い会になったと思います。

長時間おつかれさまでした!

次回も取組結果を報告します!

高校生と大学生が
一緒に考える
東大洲地区の未来

水災害リスクを踏まえた vol.2 防災まちづくり 東大洲地区編



～ 若い世代とともに考え、みんなで担う水防災、きらめく大洲をみらいへ～



行政と共に地元高校生と東大生による報告会を開催！

大洲市では、平成 30 年 7 月豪雨による甚大な被害を受け、国・県・市が一体となった「肱川緊急治水対策」が始まりました。現在、堤防整備を進めておりますが、今後も気候変動の影響等により、水災害のリスクは存在します。そこで、国土交通省大洲河川国道事務所では、大洲市や愛媛県、東京大学との連携により、『地域の防災意識の向上と水災害リスクを踏まえた防災まちづくり』に関する取組を推進しています。

この度、防災まちづくりを推進するため、地域に残る水害リスクや住民アンケート結果、ワークショップ結果等を参加者と共に共有し、住民の皆様理解して頂くことを目的に、“共に考える場”として 3月16日（土）大洲市総合福祉センター4階多目的ホールにて、「水災害リスクを踏まえた防災まちづくり・報告会」を開催しました。

大洲・大洲農業高校の生徒、東京大学の学生や住民の方々、行政関係者ら約 100 人が参加し、今後の東大洲地区の防災まちづくりについて意見を交わしました。



コーディネーターは
東京大学の羽藤先生！

水災害リスクを踏まえた防災まちづくり ～ 若い世代とともに考え、みんなで担う水防災、きらめく大洲をみらいへ～



主催 四国地方整備局 大洲河川国道事務所
四国地方整備局 肱川緊急治水対策河川事務所
共催 東京大学 工学部社会基盤学科、大洲市、愛媛県

取組紹介

行政からは、東大洲地区における流域治水の取組紹介や治水対策事業に関して報告がありました。具体的には、国は堤防や河道整備の状況、県は流域治水マニュアルの作成、大洲市は都市計画を踏まえた東大洲地区の治水対策などを説明しました。



大洲河川国道
宮田課長

愛媛県
清水主幹

大洲市
村中課長補佐

引き続き、東大洲地区の治水安全度の向上が期待されます！

高校生と大学生からは、2月に実施したワークショップについて報告がありました。



パネルディスカッション

今後は平成30年7月豪雨を上回る状況もあるということ踏まえて、生活しなくてはならないと感じた

私たちにとって、肱川は恵みをもたらす存在であり、川を学ぶと同時に水害を学ぶイベントは有効だと思う

災害時に住民と一緒に避難できるよう、事前の訓練等を通じて、地域の水害の特徴を語り合う場が欲しい

水災害に関するポスターを作って、行政施設だけでなく商業施設にも貼ってもっと身近に感じてもらいたい



高校生、大学生の代表と行政の代表でパネルディスカッションを行い、東大洲の防災まちづくりについてたくさん議論しました。

今日お集まりの皆さんで防災まちづくりを考えれば、今までの何倍何十倍もいいものが絶対できると思うので、ぜひ一緒にやりましょう！

●アンケートより抜粋

高校生の包み隠さない素直な意見が飛び交って素晴らしかった学びを学びのままで終わらせないように発信していきたい



東大洲地区の防災まちづくりを地域みんなで語り、つくりあげていきましょう！